

団体名	札幌中国語医療通訳グループ							
事業名	中国人留学生のための医療通訳サポート事業							
実施期間	平成28年5月1日～平成29年1月31日							
場 所	札幌市とその周辺の医療機関等							
参加者数	外国人留学生 及びその家族	その他外国人	日本人学生	医療関係者	通訳スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	78			169	90			337名

<実施内容>

1、留学生やその家族からのメール依頼により、札幌市内の医療機関等で通訳サポートを行った。診療科は皮膚科・歯科・産科・婦人科・整形外科・小児科・メンタルクリニックに同行し通訳サポートを行った。特に妊娠中の依頼が増え、妊婦健診、分娩、産後の指導、産後の健診、家庭訪問の通訳のほか、分娩時のために「入院のタイミング」、「入院中のスケジュール」の日本語資料の中国語訳を作成し渡した。また、依頼により保健センターの新生児家庭訪問の連絡調整・家庭訪問時の通訳、予防接種に関する小児科との調整を行った。他機関では区役所窓口で出産後の手続きに同行しサポートした。国際プラザ母子保健セミナーについて対象の留学生にメールで発信し、参加した留学生家族へ資料の中国語訳を作成して渡し、通訳サポートを行った。

2、研修会、ミーティングを定期的に行い、通訳に必要な知識を学び、また、それぞれが実践から学んだものをメンバーに還元した。

医療用語集(財団法人中国残留孤児援護基金による)、「実用医学漢語(・臨床編)産婦人科」中国での医学留学生のための教本を使用し、医療場面での中国語表現を学んだり、厚労省医療通訳者育成カリキュラム「医療通訳テキスト」を使用し、読み合わせしながら実際の通訳場面の振り返りを行った。また、中国人医師より通訳同行に必要な医学知識「人工透析」「妊婦健診」「一般健診(人間ドック)」「分娩」の講義を受けた。それぞれの講義で日本語での医学知識の他、中国で行われている治療や検査などについての考え方の違いや、中国語表現を学んだ。ミーティングでは通訳報告を通して患者さんへの通訳に必要な情報を交換した。

<記録写真>



医師の医学講義



当グループのチラシ

<参加者からのコメント>

J.Wさん(中国)

数カ月にわたるみなさまのサポートに感謝いたします。
日本に来る前は、自分の身にあれほどいろいろなことが起きるとは思っていませんでしたし、日本語が全くできない状態で日本に来てしまいました。病気になって初めて日本語ができないと大変なことになると気づきました。幸い、みなさまのチラシを手に入れて、メールでご連絡することができました。最初は1回で問題が解決すると思っていましたが、実際には何回もサポートを受けることになりました。みなさまのサポートに心から感謝いたします。サポートがなければ、どうしたらよいかわかりませんでした。

H..Zさん(中国)

私と主人は札幌中国語医療通訳グループに大変感謝しております。みなさまの親切なサポートのおかげで、私たちが抱えていた問題はしっかり解決できましたし、赤ちゃんの様子もよくなりました。親切にサポートしていただき、本当にありがとうございます。